

## 言葉の力 「真実の山では、登って無駄に終わることは決してない」(ニーチェ)

松陽便り 第257号

音楽科全学年対象 第2回公開レッスン(指揮法)

12月7日(金)音楽科全学年、保護者、卒業生の方々を対象に第2回公開レッスン(指揮法)を行いました。

一流の音楽家を招聘し、より高いレベルのレッスンを直接受けることで、技術の向上と意識の高揚を図り、今後の学習活動につなげていくこと、また、上級学校の学びをより身近に体験することで進路意識の向上を目的としています。

講師には、指揮者で愛知県立芸術大学の小森康弘先生をお迎えし、指揮法の基礎に関する理論と実践について、3時間目から全学年を対象に講義をしていただきました。

指揮者の仕事とはどんなものか、指揮台に立つ前に何をするか、指揮棒の振り方など、基礎的な内容を丁寧でわかりやすくご教授いただきました。「アウフタクト」、「アイコンタクト」、「譜面を読む」、「人間性」などのキーワードをちりばめながら、ユーモアを交え、生徒のいいところを引き出すキャッチボールが続きました。生徒へのリスペクトの思いが十分に伝わってくる魅力的な講義でした。6時間目は全員でベートーヴェンの交響曲第5番ハ短調作品67の指揮棒を振りました。公開授業には各学年の保護者の方々が参観してくださいました。

放課後、野下さんが「充実して楽しい時間でした」と話してくれました。生徒ホールでは宇賀田さんと佐藤さんが指揮棒を振っていました。お帰りの際、小森先生から「いつかこの中から一緒に仕事をする人が出てくるかもしれません」と、生徒たちの将来を楽しみにしてくださっているお言葉をいただきました。小森先生、ご指導いただきましてありがとうございました。



小森先生、ご指導いただきましてありがとうございました。

